

大垣の文化財を訪ねて

今年度の県内現地研修会は、豊富な地下水の恵みを受けて水の都と呼ばれ、奥の細道むすびの地でもある大垣の文化財を訪ねます。大垣藩 10 万石の居城であった「大垣城跡」、国名勝「大垣船町川湊」と「奥の細道むすびの地記念館」、国史跡で岐阜県最大の前方後円墳「昼飯大塚古墳」、中山道赤坂宿にある県史跡「お茶屋屋敷跡」を見学します。現地での説明をお願いしてあります。皆様お誘いあわせの上、多数ご参加くださいますようご案内申し上げます。

1 期 日 令和 7 年 10 月 1 日 (水)

2 日 程 (名鉄観光バス利用) ※途中の時刻はだいたいの目安です。

岐阜 — 関 — 美濃 — 美濃 IC = 美濃関 JCT から東海環状自動車道利用 = 大垣西 IC
7:30 8:15 8:30 8:35 (本巣 IC~大野神戸 IC 間 8 月 30 日開通) 9:10

- 大垣城跡(市史跡) — 大垣船町川湊(国名勝)・奥の細道むすびの地記念館
9:20~10:20 10:30~11:20 11:30~12:20 (2 グループに分かれて研修)
※現地集合の方は、9 時 20 分までに大垣城跡の戸田氏鉄公銅像の辺りに集合ください。

- 玉子屋本店【昼食】 — お茶屋屋敷跡(県史跡) — 昼飯大塚古墳(国史跡)
12:30~13:15 13:40~14:20 14:30~15:00

- パレットピアおおの — 大野神戸 IC = 美濃 IC — 美濃 — 関 — 岐阜
15:30~15:50 15:55 16:30 16:35 16:50 17:40

乗車場所	岐阜：JR 岐阜駅じゅうろくプラザ北	関：関シティターミナル
	美濃：県中濃庁舎西バス停付近	(関市文化会館前)

3 研修場所

大垣城跡：関ヶ原の戦いで石田三成の本拠地 大垣藩の居城 昭和 34 年に再建

大垣船町川湊：国名勝「おくのほそ道の風景地」の一つ 県史跡「住吉燈台」が残る

奥の細道むすびの地記念館：俳人松尾芭蕉の紀行文「おくのほそ道」を追体験できる「芭蕉館」 大垣の先賢たちの偉業を紹介する「先賢館」

お茶屋屋敷跡：徳川家康が上洛の往還に際して休泊のために設けた施設 城郭的要素あり

昼飯大塚古墳：4 世紀末に築かれた墳丘の長さ 150m 高さ 13m の県内最大の前方後円墳

4 募集人員 40 名 ※バスを利用されず、現地集合の方も申込をお願いします。

5 参加費 会員 9,500 円 一般 10,000 円 (車中で集めます)

現地集合の方(昼食代を含む) 会員 3,300 円 一般 3,500 円

【参加申込】

令和 7 年 9 月 24 日(水)までに
電話か QR コードで申込ください。

※土日・祝祭日は事務局閉室



参加申込

岐阜県文化財保護協会

岐阜市藪田南 5-14-12

TEL 058-214-9112

緊急時 080-5115-2090 (川部)

【研修順路】

道の駅パレットピアおおの
休憩で立ち寄ります。野菜や
果物、お土産などの直売所、Café
が併設されています。



⑦道の駅パレットピアおおの（休憩）



「お茶屋敷跡」は、美濃文化総合研究会会長鈴木隆雄氏（本協会理事）、「昼飯大塚古墳」は大垣市教育委員会文化振興課学芸員に案内、説明していただきます。

「大垣城跡」は奥の細道むすびの地記念館第二駐車場から鈴木隆雄氏に案内、説明していただきます。見学後は、バスに乗りし、奥の細道むすびの地記念館に向かいます。



①大垣城跡

②大垣船町川湊
③奥の細道むすびの地記念館
④玉子屋本店（昼食）



「奥の細道むすびの地記念館」の観光・交流館で大垣のお土産を販売しています。②の記念館の展示見学が終わったら、短い時間ですが、近くの「船町ベース（金蝶饅頭）」や「枡工房ますや」に行くことができます。

青グループ

- 10:30～11:20 ②「大垣船町川湊」見学
- 11:30～12:20 ③「奥の細道むすびの地記念館」見学

赤グループ

- 10:30～11:20 ③「奥の細道むすびの地記念館」見学
- 11:30～12:20 ②「大垣船町川湊」見学

「大垣船町川湊」は鈴木隆雄氏に案内、説明していただきます。「大垣むすびの地記念館」では大垣市教育委員会文化振興課学芸員に説明していただき、その後展示見学の予定です。